

単元名 日本の地形や気候

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 我が国の国土の様子と国民生活について、国土の地形や気候の概要を理解するとともに、地図帳や地球儀、各種の資料で必要なことを調べ、まとめることができる。
- (2) 地形や気候などに着目し、国土の地形や気候などの様子を捉え、国土の自然環境の特色について考え、表現することができる。
- (3) 我が国の地形や気候の様子や特色などについて、学習問題の解決に向けて意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

05030102_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 日本の四季の写真を見て、気付いたことを話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四季による気候の違いが分かる写真を参考にして、気付いたことや知っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春は桜が咲いている ・ 冬は木の枝だけで、雪に覆われている ○ 日本各地の地形の写真を見て、気付いたことを発表する <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県には、高く険しい山が続いている ・ 千葉県には、砂浜が続く海岸がある <p>★日本の地形と気候には、どのような特色があるのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山以外の場所はどうなっているのかな ・ 地域によって気候が変わるのは、地形が関わっているからだと思う ○ 予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べる内容…日本の地形の特色、地域による気候の違いと様子 ・ 調べる方法…教科書、地図帳、インターネット ・ 表現の仕方…ノート <p>2 日本の地形の特色について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳や立体模型図を見て、地形について気が付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平地より山地の部分が多い ・ 平地の部分は海に面している ○ 山地と平地と川の関係について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広い平野には大きな川が流れている ・ 山地から海までの距離が、外国と比べると近い ○ 日本の主な地形を白地図にまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山地、山脈、高地、平野、川 <p>3 火山や台風、梅雨などを調べることで、日本の地形や気候の特色を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 火山の噴火について知っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 畑がだめになったニュースを見たことがある ・ 新しい島ができた聞いたことがある ○ 日本の火山について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 火山の噴火で、農作物や住宅に被害をあたえることがある ・ 火山を利用している所もある ○ 各種資料から、梅雨や台風について気付いたことや知っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、6月頃に雨が多い ・ 去年の9月に、台風で学校が休みになった ○ 梅雨や台風について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨は自然災害を引き起こす ・ 暮らしや農業にとって必要な水をもたらす <p>4 地域によって異なる気候について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1月の気温の資料を見て、分かることを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄県と北海道では、20度以上違いがある ・ 九州から中部地方の太平洋側の気温がやや高い ○ 日本の気候区分を白地図にまとめる。 ○ 白地図にまとめたことと雨音図を比べ、気付いたことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 松本市と高松市は、1年を通して雨が少ない ・ 那覇市は年間を通して気温が高い <p>5 単元の学習を振り返り、日本の地形や気候の特色についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟と東京の月別平均気温と降水量を比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P.18「四季のうつり変わりのようす」の写真を参考にして、発表させる。 ・ 四季による変化が日本の特色であることを押さえる。 ・ 教科書P.19の各種写真を参考にして、発表させる。 ・ 写真同士を見比べさせて、場所によって地形が大きく違うことを押さえる。 <p>【評】日本の地形と気候の特色について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P.18～26で、学習の内容を大まかに捉えさせる。 ・ インターネットの利用については、偏った情報や誤った情報に気を付けるよう指導する。 ・ パンフレットや壁新聞で表現させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の地形の立体模型図や代表的な地形の写真を用意しておく。 ・ 教科書P.21「いろいろな地形」を参考に、用語の確認をする。 ・ 教科書P.20「日本の川と外国の川」と本文の記述から、日本の川の特徴を読み取らせる。 <p>【評】白地図にまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P.22の写真を基に、最近起きた火山の噴火や火山の噴火について知っていることを発表させる。 ・ 火山による被害だけでなく、古くから火山を利用してきたことにも目を向けさせるようにする。 ・ 教科書P.23の各種資料を基に、発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨や台風による被害だけでなく、これらがもたらすよさにも目を向けさせるようにする <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書P.24「1月の気温」を基に、北へ行くほど気温は下がり、太平洋側は日本海側に比べて比較的温暖であることを読み取らせる。 ・ 白地図にまとめたことや教科書P.25「日本各地の月別平均気温と月別平均降水量」、本文の記述を基に、話し合わせる。 <p>【評】まとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

- ・新潟は冬の降水量が多い
- ・東京は8月から10月にかけて、降水量が多い
- 季節風と山地、気候の違いの関係を調べる。
 - ・冬は北西季節風が日本海側に雪を降らせる
 - ・夏は南東季節風が太平洋側に雨を降らせる
- 学んだことを基に、日本の地形や気候の特色を話し合いまとめる。
 - ・地形の特色
 - ・気候の特色
 - ・地形と気候の関係

- ・気温では大きな差はないが、月別の降水量では大きな違いがあることを捉えさせる。
- ・教科書P.26「季節風と山地の関係」を本文の内容と照らし合わせて読み取らせるようにする。
- ・話し合ったことを基に、日本の地形と気候の特色をノート等にまとめる。
- 【評】日本の地形と気候の特色をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する

【 備 考 】